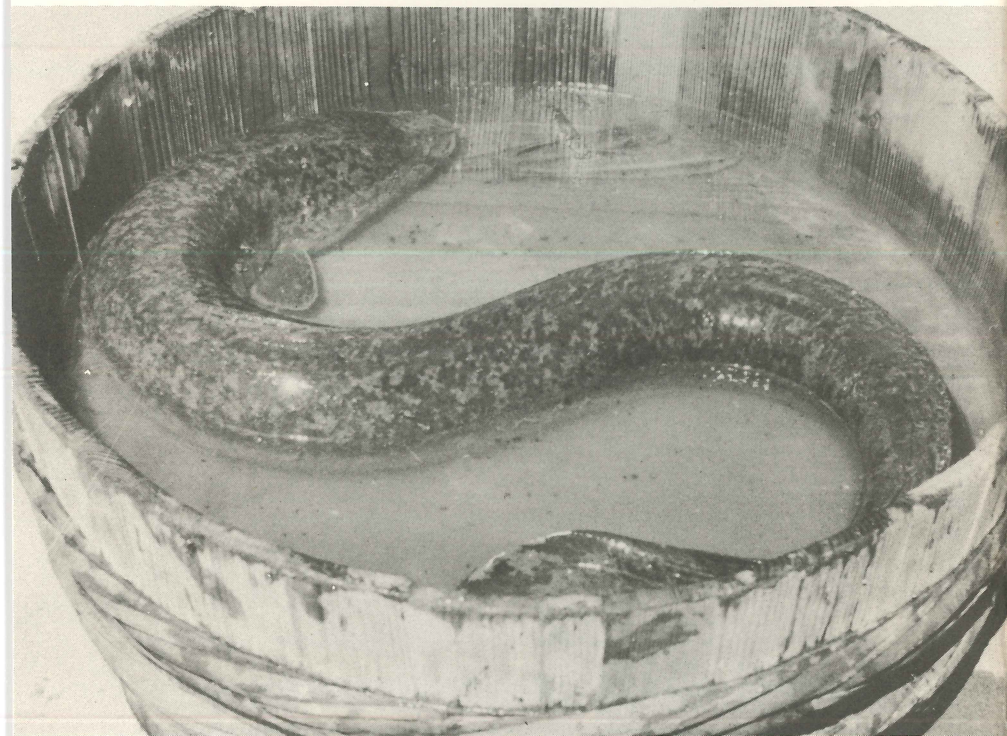




海部町文化財年表

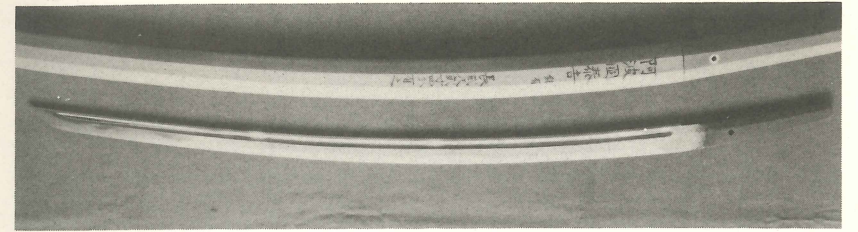


母川の大うなぎ
大正12年3月7日国指定

海部町教育委員会
海部町文化財保護審議委員会



往時の寺山全景



海部刀



関船の渡御



野江字轟の連痕



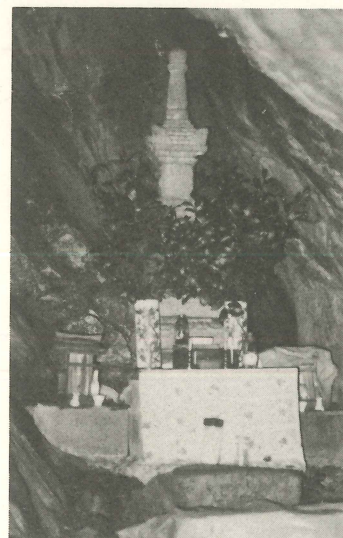
海部城址



法華寺祖師堂と竜の彫刻



靱浦字北町の大岩碑文

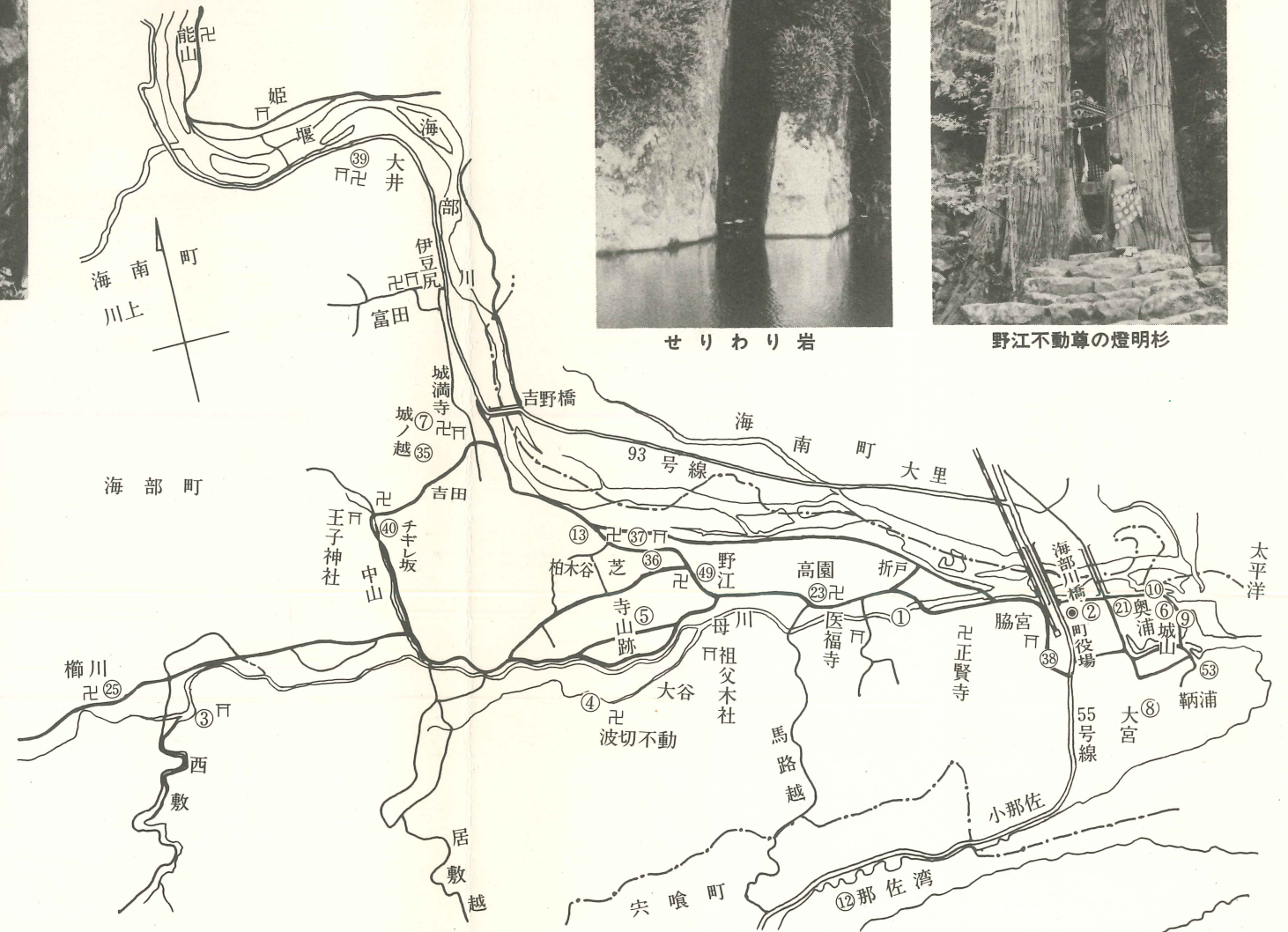


たねのざんと

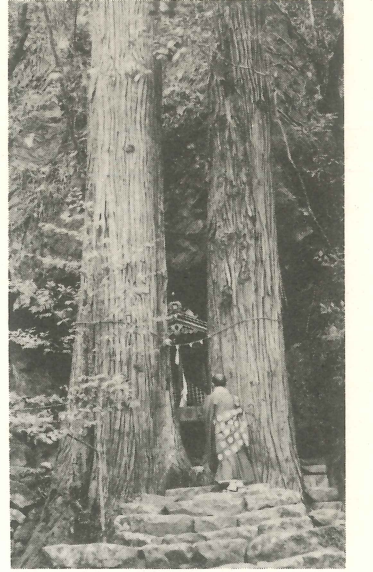


妙見山のヤッコソウ 昭和29年7月21日県指定

主要文化財所在要図



せりわり岩



野江不動尊の燈明杉



ハッチョウトンボ 昭和53年5月28日



櫛川杉王神社境内に自生するツチトリモチ

海部町主要文化財一覽表

番号	指定	種別	名称	所在地	所有者 管理者	指定年月日	概要	要
1	国	天然記念物	母川のオオウナギ	母川筋	二級河川	大12、3、7	Anguilla marmorata Quoyet Gaim Uran. 南方系の鰻、別名カニクイ、長一、五〇二、〇m、重一〇一、一六kg	
2	県	天然記念物	ヤッコソウ	妙見山	明現神社	昭29、7、21	Mitastemon Yamamotoi Makino. 椎の木に寄生する双子葉植物、世界の分布北限、奴に似る。	
3	町	天然記念物	ツチトリモチ	大谷川	杉尾神社	昭53	雌雄異株多年草、ハイノキ類の根に寄生、高五、一〇cm、雌花は黄色の花柱を赤色卵形の小体が被う。	
4	町	天然記念物	轟の漣痕	轟野江	亀井家	昭51、1、20	高約二、五m、巾約二〇mの美しい漣痕壁。	
5	町	史遺蹟跡	寺山古墳跡	寺野出江	野尻家	昭51、1、20	五世紀後半から六世紀中頃築造の古墳跡（一号円墳、一号前方後円遺構、三号前方後方墳）、豪族居住の遺跡。	
6	町	史遺蹟跡	海部城趾	城山浦	島田家	昭51、1、20	海部氏の居城、天正三年土佐軍、同十三年豊臣軍に二度落城、後阿波藩九城の一、城となり寛永十四年一國一城制で廃城。	
7	町	史遺蹟跡	吉田城趾	城の越		昭51、1、20	城の越山上、旧海部郡司居館、吉田庸俊の居城、海部合戦後北村閑齋が守る。山麓門前谷に旧城満寺跡。	
8	町	史遺蹟跡	和奈佐意富曾社旧社跡	大野宮浦		昭51、1、20	郡内唯一の延喜式内社（郷社）跡、慶長九年の震災に倒壊し大里松原に遷宮。（現在の八幡神社・小宮）	
9	町	史遺蹟跡	御陣屋跡	城山下	漁協 住宅団地	昭51、1、20	郡城廃止後、郡内行政と南方の備えとして城山下に置かれ、寛政十一年に対岸立岩の新御陣屋に、文化四年に日和佐に移される。	
10	町	史遺蹟跡	判形人屋敷跡	海南町 はんぎょ	木内家	昭51、1、20	寛永十七年南方の抑えとして津田村より移した頭三十六人の屋敷跡、はんぎょの地名が残る。現在その首長であった木内家在り。	
11	町	史遺蹟跡	東光寺跡	那浦ざんと		昭51、1、20	曹洞宗東光寺跡、益田豊後とその一族の墓、宝篋院塔、たねのざんと、洞穴、五輪塔、残党の伝説。	
12	町	史遺蹟跡	那佐湾一の島	那佐		昭51、1、20	永禄十一年、海部宗寿が島弥九郎を急襲した古戦場。三島祠に弥九郎を祀る。土佐長曾我部軍侵攻の起因地。	
13	町	史遺蹟跡	芝の掘抜き	芝ノ木谷	海部川沿岸 土地改良区	昭51、1、20	文政年代岡沢閑兵衛主幸宇平施工墜道約五五m、巾一、二m高一、〇m、阿波藩内最初の工事、一部は現在も活用。	
14	町	史遺蹟跡	斎部提瓶	町教委	野江部落	昭51、1、20	寺山一号円墳より大正八年出土。六世紀中頃の須恵器、口縁部内弯、体部前面カキメ調整細、側耳退化。	
15	町	史遺蹟跡	鞆浦海嘯記	鞆浦		昭51、1、20	嘉永十一年（安政元）の大津波の記録碑。	
16	町	建造物	法華寺祖師堂	鞆浦	法華寺	昭51、1、20	文久三年建立、総ケヤキの楼閣造り、正面波風下の竜の彫刻は県下一の定評。	
17	町	遺物	伊豆尻化石	高園	野尻家	昭51、1、20	昭和二十八年富田伊豆尻隧道より出土、下部白亜紀の羊歯 Cladophlebisp・Nilsonia sp.の化石（中川衷三博士鑑定）	
18	町	遺物	寺山石斧	野江校	海部西小学	昭51、1、20	昭和三年寺山より出土、無土器時代の砂岩石斧約一三cm、両面打製、中通磨製。	
19	町	仏像	薬師如来坐像	奥浦	薬師寺	昭51、1、20	高三〇、五cm、左手に薬壺を持つ一木造りの坐像、肉身金泥、着衣彩色、室町時代の作（田中善隆氏鑑定）	
20	町	仏像	大日如来坐像	奥浦	薬師寺	昭51、1、20	高四七cm、寄木造り、玉眼、宝冠、漆箔、智券印、舟形光背、中央色の濃い江戸時代の作（鑑定同前）	
21	町	仏像	聖観音立像	奥浦	薬師寺	昭51、1、20	高三〇cm、一木造り、左手が体に密着する田舎仏師の作、藤原時代末期の作（同前）	
22	町	仏像	阿弥陀如来立像	高園	医福寺	昭51、1、20	高九六cm、寄木造り、内刻り彫眼、螺髪三八個、肉身金泥、衣服彩色、補修痕あり、鎌倉時代の作（同前）	
23	町	仏像	弘法大師坐像	高園	医福寺	昭51、1、20	江戸時代の仏師淡州光慶明款作二体、寄木造り、玉眼、彩色、貞享三年作高五二cm、同四年作高五〇cm。（同前）	
24	町	仏像	薬師如来坐像	鞆浦	万照寺	昭51、1、20	高三六、五cm、両手法界定印の釈迦如来の形状、一木造り膝前別材螺髪を置かず波文、両耳大、作風素朴、室町時代の作（同前）	
25	町	仏像	阿弥陀如来立像	櫛川	九品寺	昭51、1、20	高九六、一cm、一木造り、来迎印相、手足も同木、鎌倉時代の優作（同前）	
26	町	仏像	阿弥陀三尊像	鞆浦	多善寺	昭51、1、20	高七二cmの阿弥陀如来立像、脇侍高三九cmの観音、勢至像台座一連、寄木造り、玉眼、漆箔、室町時代の作（前と同じ）	
27	町	仏像	阿弥陀如来立像	鞆浦	善称寺	昭51、1、21	高五八cm、寄木造り、内刻漆箔、室町時代の作（同前）、元禄一四年五月三日、四代祐信の時代造立。	
28	町	仏像	日蓮上人坐像	鞆浦	法華寺	昭51、1、20	日蓮自作といわれる秘仏、左手に経巻、右手に宝棒をとる。室町時代の作か（同前）	
29	町	仏像	阿弥陀如来立像	野江	真福寺	昭51、1、20	来迎印相、普通の阿弥陀如来像。江戸時代の作か（同前）	
30	町	仏像	地藏菩薩立像	芝	地藏寺	昭51、1、20	高五八cm、一木造り、玉眼。江戸時代の作（同前）	
31	町	仏像	釈迦如来立像	中山	真光寺	昭51、1、20	木像、禅宗寺院当然の本尊。（同前）	
32	町	仏像	阿弥陀如来坐像	富田	善福寺	昭51、1、20	来迎印相、寄木造り、内刻、漆箔、玉眼。江戸時代の作（鑑定前に同じ）	

33	町	仏像	阿弥陀如来立像	大井	阿弥陀寺	昭51、1、20	高五九、二 ^{cm} 一木造り、漆箔、着衣彩色、素人造りと思われる。(同前)
34	町	仏像	阿弥陀如来立像	松本谷	正賢寺	昭51、1、20	二体、時代は新しいが金泥をほどこした美しい仏像。仏殿、仏具とも立派である。(同前)
35	町	石仏	門前谷石仏	吉田	城満寺	昭51、1、20	門前谷旧城満跡出土、高三三 ^{cm} 硬質砂岩石仏、地藏菩薩像線刻、衣裳の特徴より室町時代上期の作と鑑定(笠井藍水)
36	町	石仏	明德逆修石仏	芝	地藏寺	昭51、1、20	高一六六 ^{cm} 、巾三三 ^{cm} 砂岩質石板彫、地藏菩薩像の線刻、明德元年十月の銘刻、逆修供養碑、伝説あり。
37	町	石仏	上野山石仏	芝		昭51、1、20	室町時代の石仏と五輪塔(笠井氏鑑定)
38	町	石仏	西山下六地藏	奥浦		昭51、1、20	貞享元年富田与兵衛寄進の石仏、西山地藏庵縁故。
39	町	石仏	夫婦合掌石仏	大井	阿弥陀寺	昭51、1、20	室町時代の作といわれる小石仏(笠井氏鑑定)堂内安置。
40	町	石仏	チギレ坂地藏仏	中山	真光寺	昭51、1、20	中山・吉田境のチギレ坂西麓、室町時代作の五輪塔(笠井氏鑑定)
41	町	海部刀	阿州住泰吉作	頼浦	森下家	昭51、1、20	大永五年作古刀
42	町	海部刀	建依別中島氏詮作	奥浦	佐伯家	昭51、1、20	海部氏の末、中島九代、新刀、土佐田野に住む。
43	町	海部刀	阿州城下於民吉作	富田	北川家	昭51、1、20	藩主蜂須賀光隆に召されて徳島に移った氏吉の末、新刀
44	町	仏画	十六善神像	奥浦	薬師寺	昭51、1、20	一一六、四×五九、六 ^{cm} 軸装、絹本着色、室町時代末葉の作品(田中氏鑑定)
45	町	仏画	涅槃図	高園	医福寺	昭51、1、20	釈迦仏臨終の様を描く紙本彩色仏画、安政二氣空寂作。
46	町	仏画	涅槃図	野江	真福寺	昭51、1、20	一五〇、五×二〇一 ^{cm} 軸装、紙本彩色、明治初期奥浦の坪井織蔵の作。
47	町	文書	庄屋文書	町教委	町	昭51、1、20	蒲政期の棟付帳・検地帳等県史料目録登載二三三点。(大半は紛失)
48	町	文書	県史料目録登載古文書	下記参照	下記参照	昭51、1、20	頼浦善称寺一点、岡沢家九点、三浦家一点、森下家四点、高園野尻家一〇三点。
49	町	文書	海部閑六書翰	野江	岡沢家	昭51、1、20	明治三年獄中から郷里の甥岡沢尉之進に送った書翰。庚午事変の秘史料。
50	町	版画	母川蛭合戦	頼浦	松浦家	昭51、1、20	文化七年京都の墨海の原面を内藤国蔵が製版した阿波名所二十組の一、他に眉山・祖谷・羅漢の三点も所蔵。
51	町	碑文	大岩供養碑	頼浦		昭51、1、20	伝説の大岩、慶長九年十二月十六日、宝永四年十月四日の二度の大津波の記録と遭難者供養の碑。
52	町	遺物	寺山遺物	町教委	町	昭56、5、20	寺山古墳出土、銀環径三 ^{cm} 、二、一 ^{cm} 二個、鉄片(鏃)、鏡片三、五×二、六 ^{cm} 、須恵器破片(奈良元興寺文化財研究所発掘調査)
53	町	遺物	大谷土器	町教委	町	昭56、5、20	弥生時代後期の壺、高杯、甕の破片約七十個、県南最初の出土(県教委立花氏鑑定)
頼浦		庄屋屋敷(横山家)・灘目付屋敷(岡沢家)・新御陣屋跡・魚分一所跡・遠見山候館跡・那佐御番所・烽火台跡・神将像(万照寺)、元文年代宝篋院塔(法華寺)・致道小学校跡(多善寺)・種子島鉄砲(田中家)・鎧一領(山本家)銅製古鏡(岸家)・八幡祭の関船・二、だんじり二組、「海部町民族資料」登載の民具・漁具・文書等八十八点(森下家外十三家)					
奥浦		天和年代御神灯外(明現神社境内)、清心像・予章祠・治水記念碑・森志磨守墓・奥浦庄屋志方家墓地・奥浦日記(西山家)、元文年代宝篋院塔・海部城ゆかりの菊花彫刻・大杉戸・挟箱覆い(以上薬師寺)、こちぶせ榎・ざくろ岩・木内家古文書・だんじり・一、海部鍛冶鍛刀湯舟外工具(西山家)「海部町民族資料」登録民具その他七十九点(土田家外十六家)高瀬処跡。					
高園		歓喜庵跡、寛永年代小五輪・母川・せりわり岩・医福寺書院(三小区役所・南郷学校跡)、一里松跡・馬路峠小屋掛跡・番所跡・馬路橋(しにくい渡し跡)、折戸宿場跡、野尻家(旧伝馬役、最初の郵便取扱所)・矢喰渡立札・字取縮印・古陶器・八升釜・古文書画・蜂須賀家定紋入瓦・寺子屋机・教科書等・古資料多数所蔵。佐和事件連座与頭庄家近藤家屋敷跡、海部川流路跡。					
野江		波切不動庵・燈明杉・祖父木祠(夫婦たぶ痕)・与頭庄屋岡沢家屋敷跡、栗林伝八郎覚書外古文書(栗林家)、母川河跡沼、「海部町民族資料」登載、民具・農具等一九点(岡沢家外十家)					
芝		新居神社(益田家祈願所)・北山薬師庵(縁起額)ハッチョートンボ棲息地(柏木谷)、元禄年代鰐口(松崎家)入口家所蔵(古陶器・古銭・古民具・衣料・農器具・覚書類等多数)射場当家人代記・地神祭祀祠(芝部落)					
中山		王子神社(海部宗寿建立の古祠、旧主村郷社、天正三年兵火炎上、万治二年重造、棟札多数保存)、居敷川改修跡・居敷越矢喰道跡・庄家丸岡家古文書・西田家古記録・鎧一領(佐藤家)「海部町民族資料」登載民具等四点(西田家)。					
櫛川		子安観音庵(如意寺跡)庄屋谷本家(倍粹小学跡)、母川舟路起点跡、「海部町民族資料」登載民具等十五点(田内家外三家)					
吉田		門前谷旧城満寺跡、城満寺(曹洞宗常済大師初戒・阿波最古の道場・莹山禪師墓塔、木像、能登祖院寄進大般若経巻)、し、くい道標・火縄銃(小笹家)					
富田		草競馬場路・山伏万泉坊墓碑(善福寺)「海部町民族資料」登載民具・馬具等六点(谷家)・伊豆尻旧隧道。					
大井		大堰・高瀬舟津・トバ跡・大井大火・外記録(与頭庄屋富田家)・明神池・能山薬師庵(徳林寺跡)					

海部町文化財年表

[illegible]

世										中									
鎌倉時代					室町時代					安土桃山時代					南北町時代				
13					14					15					16				
一三三八	一三二八	一三二五	一三二二	一三二〇	一三一八	一三一五	一三一三	一三一〇	一二九八	一二八八	一二八五	一二八二	一二七〇	一二七〇	一二七〇	一二七〇	一二七〇	一二七〇	一二七〇
嘉禪	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武	建武
3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
文永の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役	弘安の役
鎌倉幕府亡ぶ					後醍醐天皇吉野へ移る					南北朝統一					應仁の乱				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失 海南町神原家罎口がつくられる。(県内最古) 牟岐・中村古城・台の山物見櫓ができる。					このころ中山・チギレ坂五輪塔がつくられる。 海部沿岸大津波 牟岐町真光寺・正伝寺建立・牟岐津神社遷宮 高田民部吉野城主に反逆して戦い敗れる。 この頃藤原元親吉野城を築くという。				
海部郡司吉田城下門前谷に城満寺を建立する。 堂山禪師(常清大師)越前より来化し城満寺を開山し戒法をひらいて曹洞宗を弘める。 堂山禪師城満寺に於いて僧俗七十余人に戒法を授ける。 このころ楠川・九品寺本尊阿弥陀如来立像がつくられる。堂山禪師阿波を去る。 このころ海部氏吉田刀工が海部川筋で海部刀を鍛える。(笹草・大井・野江・脇宮)					このころ刀工氏吉・房吉海部刀を鍛える					南海大地震・津波 浅川浦東田由岐浦流失									

近															世															
江					戸					時					代															
18										17																				
一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六	一八二六
文政	文政	文政	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化
29	6	2	14	10	7	4	2	3	元	12	11	4	5	9	8	3	元	13	12	9	4	元	3	2	2	15	12	11		

益田宮内城番となる。このころ僧光普が頼浦に弘誓寺を開基する。このころ益田豊後が頼城番をつとめる。豊後が法華寺をまつたといふ。このころ道標の一里松が植えられる。

高園・道善寺の名が検地帳に字にと残っている。日乾上人が頼浦の法華寺を開基創建したという。頼城とりこわしが実行され頼浦山下に御陣屋がおかれる。海南町四方原。このころ奥浦の楠神社が創建される。

判形人三十六人を城北麓に駐屯させる。奥浦の開発成る。住民六十七戸、庄屋岡田九郎右衛門。頼浦波止崎に川口番所・手倉に遠見山番所がおかれる。

益田豊後の悪政摘発。頼浦帳に中山村戸数三十六軒と記される。鉄砲の者四十人に暇を与え海部郷鉄砲ができる。新開地帳に各村の新田開発が記録される。

このころ綱分戸数が六十軒、野江村四十四軒、芝村三十四軒、松木楠川村四十二軒。頼浦・観音寺・中山・永林寺實在記録(棟附帳)僧快算が高埴村匡王寺の堂宇を再建する。同じく野江村真禪寺開基創立。僧開山が乏・地藏寺、北山薬師庵を創建する。中山・王子大権現社重造。快算上人匡王寺と正福寺を合併して高園・医福寺を創建する。

頼浦大火、万照寺焼失。復興半は再び大火、二百五十九戸焼失。頼浦・観音寺焼失、本尊を万照寺にうつす。空心上人頼浦・水谷山に觀音堂を建立する。奥浦・楠神社再建。快算上人正福寺本尊を設置して高園に地藏庵を創建する。

僧善喜・楠川・九品寺を再興する。頼浦札場がおかれる。奥浦・明現神社境内最古御神灯紀年。富田与兵衛奥浦・西山の六地藏を奉獻する。高埴村を高園村に改める。頼浦・御分一所がおかれる。

高園・阿弥陀寺實在記録(棟附帳)このころ奥浦堤・脇宮堤できる。海部沿岸大津浪(網大岩碑文)。熱田庚申堂ができる。

このころ能山・徳林寺・薬師庵・茂田庚申堂がある。大井・大師堂實在(棟附帳)土佐安芸の住民多数海部川上流地域。居敷村を中山村に、姫能山村を大井村に併合する。丈六寺凸藏禅師を開山として中山・真光庵を真光寺とする。

富田・善福寺實在(棟附帳)頼浦札場を置く(県内四か所)奥浦・薬師寺境内の宝篋院紀年。木内家三代貞四郎により木内家文書が書きはじめられる。

頼浦・弘誓寺再興(僧惠仙)頼浦・法華寺境内宝蔵院紀年。頼浦大火(二九八戸)多善寺類焼。大洪水(姫能山・大井・高園人家流失。海南町勝浦家万日記ができる。

頼浦・万照寺中興(僧寂明)野江・祖父ノ木神社社殿遺堂(棟杣)松木各歡喜庵創建。頼浦大火(二三三戸)頼浦・觀音寺を万照寺に合併する。

このころ高園・大師堂ができる。この頃海南町大里松原の。このころ野江・不動庵再建(貞寿尼)頼浦水谷山觀音釣鐘堂ができる。頼浦・善称寺焼失再興(僧祐山)

異国船日和佐沖漂着。柳

このころ吉田村栗林多賀助が寺子屋をひらく。

このころ各村浦に五角柱の地神碑が建立される。大風水害那佐頼浦奥浦の船多く流出する。頼浦魚御分一所ができる。頼浦陣屋新築。

郡代佐和滝三郎悲政。高園村与頭庄屋近藤平四郎閣所となる。松木歡喜庵焼失・享和の逃散事件。郡代佐和滝三郎処断される。各村浦「歩き」の制ができる。

奥浦・薬師寺方丈再建(元海部城・御陣屋の建具・彫刻等に移す)頼浦郡所寺(御陣屋)が日和佐へ移れる。版圖「母川宴合戦」の原画できる。大里海岸潜水艦実験(佐藤信淵)奥浦の戸数二百四軒となる(棟附帳)。

このころ高園・大師堂を再開している。このころ芝梅木谷用水路掘抜できる。(野江村与頭庄屋岡沢閑兵衛・宇平)岡沢市兵衛(後の海部附六)野江村に生まる。芝村嚴島神社殿再建(棟杣)。

異国船一日隻年支冲へ漂着し沿岸騒ぐ。野江村与頭庄屋岡沢閑兵衛活躍。

阿波十三郡鄉村検地帳できる。
このころ鴨島町後藤田家の長谷川等伯画「萩・す・き」の屏風ができる。
市場町切幡寺重層塔が建てられ、塔内の狩野山楽画「文珠菩薩像」板絵ができる。

蜂須賀至鎮公従軍。功により阿波・淡路大守となる。
御国法（御壁書）二十三か条定められる。

徳島市丈六寺方丈（現在の本堂）が建てられる。
阿南市佐田神社創建。
御壁書七か条が追加される。

阿波人形座京都禁裡に召され正月に翁三番を納める。
撫養斎田村の内桑島村新浜塩田開拓文書ができる。

阿波国十三郡古図できる。

三好記・阿波三好物語ができる。

南海治乱記・三好記できる。

諸宗寺院法度できる。

阿波国人口二四八、三七五人。
魚屋寺沢を座元として銀札の発行をはじめめる。
阿波国内七か所に銀札場を設置する。

徳島の東光寺是頓正賢寺を創建する。
土成町熊谷寺仁王門が建てられる。
袋井用水ができる。
このころ馬の背の駒三人形頭がつくられる。

銀札再発行
徳島市丈六寺経蔵がなてられる。
渭水見聞録ができる。藍と紙の専売制施行
祖谷山検地騒動

藍専売反対一揆
この頃観松齋が詩絵をつくる。
この頃阿波焼（丈七焼）がはじまる。
このころ阿南市吉祥寺の慈雲尊者筆蹟がつくられる。

このころ大谷焼がはじまる。
赤堀良亮「阿波志」を編集する。
藩主治昭各村浦に地神社を祀らせる。
東州斎写楽版画をつくる。
丸山徳弥砂糖の製法を伝える。
貫名松翁盧山の記を書く。

平島公（足利義根）阿波を去る。
このころ阿南市吉祥寺花垣門平島館より移転される。
小松島市地蔵寺玄関ならびに書院を修理する。

佐野之憲阿波志を編集する。
勝浦町鶴林寺三重塔初層ができる。
仁宇谷一揆
鶴林寺三重塔完成。
このころ渡辺広輝が祖谷山絵巻を描く。

[illegible]